



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 キング 上場取引所 東
 コード番号 8118 URL http://www.king-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島 希吉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理統轄 (氏名) 石井 修二 TEL 03-5434-7282
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,872	△27.8	△189	—	△143	—	△170	—
2020年3月期第2四半期	5,364	2.0	625	△9.4	667	△8.3	441	△10.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △143百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 454百万円 (△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△9.43	—
2020年3月期第2四半期	24.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,574	20,768	88.1
2020年3月期	24,351	21,164	86.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,768百万円 2020年3月期 21,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期（予想）			—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	△22.9	70	△93.2	150	△85.9	20	△97.1	1.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	24,771,561株	2020年3月期	24,771,561株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	6,716,108株	2020年3月期	6,716,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	18,055,453株	2020年3月期2Q	18,235,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動や個人消費が大きく停滞し、緊急事態宣言解除後の経済活動再開による消費回復が期待されましたものの、景気の減速傾向は長期化しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当アパレル・ファッション事業におきましても、衣料品に対する消費者の節約志向が継続していることに加え、外出自粛等による消費マインドの急激な冷え込みにより、依然として極めて厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、お客様にご満足いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、「上質・プレミアム」に強くこだわり、付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、店頭運営力の更なる向上と生産管理機能の一層の強化を図り、新型コロナウイルス感染症による影響を最小限に抑えるべく、当社パートナーショップに対する支援策の推進、不採算店舗の撤退、収益性を重視した取組み、販売費を中心とした諸経費の削減等、状況に応じた対策を実施してまいりました。

その結果、売上高は38億72百万円（前年同期比27.8%減少）、営業損失は1億89百万円（前年同期は営業利益6億25百万円）、経常損失は1億43百万円（前年同期は経常利益6億67百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億70百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億41百万円）となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

(アパレル事業)

「強いものづくり」を変わらぬ基軸とした付加価値の高い商品力を徹底追求し、高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、当社のパートナーショップに対する支援策の推進、不採算店舗の撤退、収益性を重視した取組み、販売費を中心とした諸経費の更なる削減等を実施してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大が続くなか、外出自粛等による消費マインドの急激な冷え込みにより、売上高は31億72百万円（前年同期比29.5%減少）、営業損失は5億円（前年同期は営業利益2億87百万円）となりました。

(テキスタイル事業)

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指し、既存主力先の深耕化、次期主力先の開発強化、次世代人材の育成に取り組むと共に、「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の強化や素材・加工方法の開発推進、提案力向上にも注力し、引き続き、企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力の強化に努めました。

しかしながら、テキスタイル事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってアパレル業界全体が苦戦している背景もあり、売上高は3億39百万円（前年同期比34.8%減少）、営業利益は10百万円（前年同期比79.5%減少）となりました。

(エステート事業)

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努めました結果、売上高は3億59百万円（前年同期比4.2%増加）、営業利益は3億3百万円（前年同期比5.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は235億74百万円となり、前連結会計年度末比7億77百万円の減少となりました。

流動資産は125億58百万円となり、前連結会計年度末比7億39百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金、並びに商品の減少によるものであります。また、固定資産は110億15百万円となり、前連結会計年度末比37百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物の減少と繰延税金資産の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は28億5百万円となり、前連結会計年度末比3億81百万円の減少となりました。

流動負債の残高は16億86百万円となり、前連結会計年度末比3億60百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等、並びに支払手形及び買掛金の減少によるものであります。また、固定負債は11億19百万円となり、前連結会計年度末比21百万円減少いたしました。これは主に、預り保証金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は207億68百万円となり、前連結会計年度末比3億95百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

なお、自己資本比率は、88.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度に比べ、46百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の残高は99億68百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1億47百万円減少（前年同四半期は5億9百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、3億53百万円増加（前年同四半期は1億63百万円減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、2億52百万円減少（前年同四半期は3億44百万円減少）となりました。これは、配当金の支払による支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症が連結業績に与える影響を合理的に算定することが極めて困難なことから未定としていましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期連結業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,514	9,968
受取手形及び売掛金	885	792
商品	1,741	1,626
原材料及び貯蔵品	41	22
その他	120	153
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	13,298	12,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880	1,789
土地	6,480	6,480
その他(純額)	255	233
有形固定資産合計	8,616	8,503
無形固定資産	304	294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,209	1,249
長期貸付金	4	3
繰延税金資産	106	178
差入保証金	585	565
その他	243	240
貸倒引当金	△16	△19
投資その他の資産合計	2,132	2,218
固定資産合計	11,053	11,015
資産合計	24,351	23,574

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	773	701
短期借入金	380	380
未払法人税等	186	46
賞与引当金	188	136
役員賞与引当金	18	9
その他	500	411
流動負債合計	2,046	1,686
固定負債		
長期借入金	50	50
退職給付に係る負債	175	180
資産除去債務	127	119
長期未払金	167	167
その他	619	602
固定負債合計	1,140	1,119
負債合計	3,187	2,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	12,703	12,280
自己株式	△2,244	△2,244
株主資本合計	20,932	20,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	259
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	232	259
純資産合計	21,164	20,768
負債純資産合計	24,351	23,574

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,364	3,872
売上原価	2,355	1,973
売上総利益	3,008	1,898
販売費及び一般管理費	2,383	2,088
営業利益又は営業損失(△)	625	△189
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	22	19
仕入割引	10	6
貸倒引当金戻入額	0	0
雇用調整助成金	—	16
その他	6	4
営業外収益合計	44	50
営業外費用		
支払利息	1	1
貸倒引当金繰入額	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	2	4
経常利益又は経常損失(△)	667	△143
特別損失		
固定資産除却損	14	41
臨時休業等による損失	—	47
特別損失合計	14	88
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	652	△232
法人税、住民税及び事業税	163	21
法人税等調整額	48	△84
法人税等合計	211	△62
四半期純利益又は四半期純損失(△)	441	△170
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	441	△170
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	27
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	13	27
四半期包括利益	454	△143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	454	△143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	652	△232
減価償却費	192	208
その他の償却額	3	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△113	△51
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	4
受取利息及び受取配当金	△26	△23
支払利息	1	1
固定資産売却損益(△は益)	—	0
固定資産除却損	14	41
売上債権の増減額(△は増加)	136	92
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127	134
仕入債務の増減額(△は減少)	78	△71
その他	11	△120
小計	803	△17
利息及び配当金の受取額	26	23
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△318	△152
営業活動によるキャッシュ・フロー	509	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	1,000	500
有形固定資産の取得による支出	△162	△103
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△5	△37
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	1
差入保証金の差入による支出	△16	△6
差入保証金の回収による収入	21	17
その他	△0	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163	353
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△30	—
長期借入れによる収入	50	—
配当金の支払額	△364	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△344	△252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1	△46
現金及び現金同等物の期首残高	8,929	10,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,931	9,968

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結会計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会	普通株式	364	20	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月11日 取締役会	普通株式	252	14	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について
重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,498	520	345	5,364	—	5,364
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	14	19	—	34	△34	—
計	4,513	540	345	5,398	△34	5,364
セグメント利益	287	53	287	628	△2	625

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	アパレル事業	テキスタイル 事業	エステート 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,172	339	359	3,872	—	3,872
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	13	11	—	24	△24	—
計	3,186	350	359	3,896	△24	3,872
セグメント利益又は損失 (△)	△500	10	303	△186	△2	△189

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3百万円が含まれております。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。